



誠・力・光

令和5年7月11日
練馬区立北町中学校
学校だより 7月号

地域と学校

校長 中嶋 雅彦

阿波踊りを、3分ほど踊ると、汗が体中から吹き出してきました。日頃の運動不足を感じるとともに、身体を動かした爽快感を味わうことができました。本校では、7月4日に、2年生の総合的な学習の時間で、地域の方々による阿波踊りの練習が行われました。北町商店街等を中心に、毎年7月の最終土曜日に「きたまち阿波踊り大会」が行われています。本校では、第27回の会に参加し、北町さわやか賞を受賞して以来4年ぶりの参加となります。地域でも感染症予防のため行事などの中止により子どもたちへの地域参加が難しくなっていたことを改めて感じるところです。

本年度の学校経営方針には、地域に根差した学校を作るために「地域の人材を活用した防災訓練などの体験学習や地域行事への参加により地域との連携を深めた教育活動を推進する。」という項目があります。先月行った地域連携防災訓練や練馬区調べ、練馬大根栽培、ちがや馬作り、地域祭りの体験など、北中では地域の教育力を生かしながら、多くの人との関わり合いの中で学習を深めています。

今月11日からは、2年生が、キャリア教育の一貫として職場体験を行います。子どもたちは、4月から体験場所を探し、職場体験をより充実させるために、事前学習を重ねてきました。この職場体験では、勤労の尊さや生産の喜びを体得し、勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるように行っています。北町商店街や本校近隣の事業所には、多くの生徒が職場体験のためにお世話になります。ご負担をおかけすることになりますが、将来の社会を担う子どもたちのために趣旨をご理解していただき、ご協力をお願いいたします。2年生の生徒には社会の一員としての自覚が芽生え、社会や大人を客観的にとらえる力を身に付ける場となることを期待しています。

7月は1学期を振り返り、締めくくる月となります。また、地域と学校が、ともに子どもたちを育てていく活動が、数多く行われる時期でもあります。7月21日からの夏休み期間においては、生徒たちの家庭や地域で過ごす時間が増えます。地域の皆様には、これからも北町中をあたたく見守っていただき、その力を学校教育に生かしていきます。2学期も北町中をよろしくお願いいたします。